

日時：2024年7月23日 18:00～18:50

会場：オンライン

参加者：23名

#### 4. 市道被災状況調査（事例が多かった被災ケース①）



地震の横揺れによる側方流動により道路盛土が崩壊したケース



13

はじめに、鶴田先生（岐阜高専）より本勉強会の趣旨について説明、川本先生（福井大学）より今回報告していただく福井県土木部河川課の紹介を頂いた。

坪内氏（福井県土木部河川課）より「珠洲市の公共土木施設応急復旧について」と題して、復旧支援初動期(1/12～2/5)の支援活動概要、当初支援業務として行った幹線市道の通行状況確認の内容、支援業務内容の変更（幹線市道の通行状況確認から市道被災状況調査）、市道被災状況調査の内容・事例、ICT 技術の試験的活用（360 度カメラ、ドローン撮影）について報告頂いた。

質疑応答では、復旧支援初動期における珠洲市職員の状況や、石川県は県管理公共土木施設（県道・河川等）の復旧にあたっていたこと、国交省の TEC-FORCE は珠洲市内全域で道路啓開や被災状況調査にあたっていたことなどが説明され、復旧活動全体のマネジメントの必要性などについて議論がなされた。また、道路通行状況調査について、通常の判断基準では殆どの道路が通行不可になるため、車高の高い車両が低速で通行できる程度の被災状況であれば通行可と判断したこと、調査時において住民の通行は殆どなかったことが説明された。

（記録：坪井志朗）